

|                                 |              |
|---------------------------------|--------------|
| 講義コード<br>Course code            | 0F5035101    |
| 講義名<br>Course title(Japanese)   | 海商法          |
| 英文講義名<br>Course title (English) | Maritime Law |
| (副題)<br>Course subtitle         | 〔法学部専門科目〕    |
| 開講責任部署                          |              |
| 講義開講時期<br>Semester(s)           | 前期           |
| 講義区分<br>Type                    | 講義           |
| 単位数<br>Credit hour(s)           | 2            |
| 時間<br>Total hours               | 0.00         |
| 代表曜日<br>Day                     | 火曜日          |
| 時限<br>Period                    | 4 時限         |

#### ナンバリングコード

| 所属名称 | ナンバリングコード   |
|------|-------------|
|      | L1-CIL304LJ |

#### 担当教員 Lecturer(s)

| 職種（専任教員・非常勤教員）<br>Position (Full-time/Part-time) | 担当教員名<br>Lecturer(s) | 実務経験の有無<br>Hands-on experience | 所属学部<br>Department |
|--|----------------------|--------------------------------|--------------------|
| 専任教員   | 白石 智則                |                                | 法律学科               |

#### 授業の内容（主題）

##### Course description

この講義では、主として商法第3編「海商」および国際海上物品運送法から構成される、いわゆる「海商法」を学びます。

多くの資源を海外から輸入している日本において、国際運送のほとんどを占める海上運送が重要なことはいまさらいうまでもありません。本講では、この海上運送に関する法制度を中心として、船舶所有権、海上売買、海上損害など、海上企業の組織と活動に関する法制度を広く取り上げます。

あまりなじみのない分野かもしれませんが、「まだ知らぬ海を目指して」（白鷗大学校歌）いる多くの白鷗生の受講を期待します。

#### 到達目標

## Course objectives

海上運送に関する基本的な法制度を理解することを目標とします。

## ディプロマポリシーとの関連

### Accordance with diploma policy

◎：非常に強く関連する

○：強く関連する

△：関連する

空欄：該当しない

|  |   |
|--|---|
| ①二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献できる能力                    | ◎ |
| ②激変する国際社会の中にあつて、十分な異文化理解のもとに、長期的で広い視野に立つて将来を展望し、行動できる能力  | ○ |
| ③本格的な高度情報社会において、最新の情報を的確に入手し、それを有効に活用したうえで効果的に情報を発信できる能力 | △ |
| ④自らの判断、努力と責任に基づいて、社会に積極的に貢献できる豊かな教養と柔軟な思考力               | △ |

## 授業計画表

### Course plan

| 回<br>Class<br>sessions | 内容<br>Topics      | 予習・復習<br>Expected work outside of class   |
|------------------------|-------------------|---|
| 第1回                    | ガイダンス（船と海運実務）     | 予習：なし<br>復習：講義内容の確認（3時間）、海運実務に関する動画の視聴（30分）、Webclassによる小テスト（テスト10分、答えの確認20分）          |
| 第2回                    | 序論                | 予習：教科書第1章の卒読（30分）<br>復習：教科書第1章の精読・講義内容の確認（3時間）、Webclassによる小テスト（テスト10分、答えの確認20分）       |
| 第3回                    | 船舶(1) 船舶の意義と種類    | 予習：教科書第2章Ⅰの卒読（30分）<br>復習：教科書第2章Ⅰの精読・講義内容の確認（3時間）、Webclassによる小テスト（テスト10分、答えの確認20分）     |
| 第4回                    | 船舶(2) 船舶の個性・国籍・公示 | 予習：教科書第2章Ⅱ～Ⅴの卒読（30分）<br>復習：教科書第2章Ⅱ～Ⅴの精読・講義内容の確認（3時間）、Webclassによる小テスト（テスト10分、答えの確認20分） |
| 第5回                    | 船舶活動の主体           | 予習：教科書第3章Ⅰ～Ⅲの卒読（30分）<br>復習：教科書第3章Ⅰ～Ⅲの精読・講義内容の確認（3時間）、Webclassによる小テスト（テスト10分、答えの確認20分） |
| 第6回                    | 船員等               | 予習：教科書第3章Ⅳの卒読（30分）<br>復習：教科書第3章Ⅳの精読・講義内容の確認（3時間）、Webclassによる小テスト（テスト10分、答えの確認20分）     |
| 第7回                    | 船舶所有者等の責任制限       | 予習：教科書第4章の卒読（30分）<br>復習：教科書第4章の精読・講義内容の確認（3時間）、Webclassによる小テスト（テスト10分、答えの確認20分）       |

|      |                 |   |
|------|-----------------|---|
| 第8回  | 海上物品運送契約の意義と種類  | 予習：教科書第5章の卒読（30分）<br>復習：教科書第5章の精読・講義内容の確認（3時間）、Webclassによる小テスト（テスト10分、答えの確認20分）             |
| 第9回  | 船荷証券の意義と発行      | 予習：教科書第6章の卒読（30分）<br>復習：教科書第6章の精読・講義内容の確認（3時間）、Webclassによる小テスト（テスト10分、答えの確認20分）             |
| 第10回 | 船荷証券の効力         | 予習：教科書第7章の卒読（30分）<br>復習：教科書第7章の精読・講義内容の確認（3時間）、Webclassによる小テスト（テスト10分、答えの確認20分）             |
| 第11回 | 海上物品運送契約の履行     | 予習：教科書第8章の卒読（30分）<br>復習：教科書第8章の精読・講義内容の確認（3時間）、Webclassによる小テスト（テスト10分、答えの確認20分）             |
| 第12回 | 海上物品運送人の責任      | 予習：教科書第9章の卒読（30分）<br>復習：教科書第9章の精読・講義内容の確認（3時間）、Webclassによる小テスト（テスト10分、答えの確認20分）             |
| 第13回 | 海上物品運送人の責任制限と免責 | 予習：教科書第10章の卒読（30分）<br>復習：教科書第10章の精読・講義内容の確認（3時間）、Webclassによる小テスト（テスト10分、答えの確認20分）           |
| 第14回 | 海上旅客運送契約・船舶の衝突  | 予習：教科書第11章・第12章の卒読（30分）<br>復習：教科書第11章・第12章の精読・講義内容の確認（3時間）、Webclassによる小テスト（テスト10分、答えの確認20分） |
| 第15回 | 海難救助・共同海損       | 予習：教科書第13章の卒読（30分）<br>復習：教科書第13章の精読・講義内容の確認（3時間）、Webclassによる小テスト（テスト10分、答えの確認20分）           |

## 授業計画コメント

### Course outline

特にありません。

## 授業の進め方

### Session plan

各回の講義の最初に、レジュメを配布します。講義では、レジュメの内容をプロジェクターに投影し、書き込みなどをしながら、内容の説明をいたします。

## アクティブラーニング

### Active learning

適宜質問を投げかけることで受講生の主体的な学びを促し、アクティブラーニングを実践します。

また、毎回講義後に小テストを行い、受講者の理解度を確認します。

## 授業時間外の学修（予習・復習等）

### Preparation and review outside classroom hours

「授業計画表」記載のとおりです。

## 教科書等

### Textbooks and materials

| タイトル<br>Title | 著者名<br>Author(s) | 出版社<br>Publisher | 出版年<br>Year of<br>Publication | 価格<br>Price | ISBN |
|---------------|------------------|------------------|-------------------------------|-------------|------|
|               |                  |                  |                               |             |      |

|   |                     |      |     |       |           |  |
|---|---------------------|------|-----|-------|-----------|--|
| 1 | 基本講義 現代海商法<br>(第5版) | 箱井崇史 | 成文堂 | 2024年 | 2500円(予定) |  |
| 2 |                     |      |     |       |           |  |
| 3 |                     |      |     |       |           |  |
| 4 |                     |      |     |       |           |  |
| 5 |                     |      |     |       |           |  |

**(必ず購入すべきもの)**

**Materials required for sessions**

上記の教科書を進駈堂などで購入してください。

**参考図書**

**Reference book(s)**

中村眞澄＝箱井崇史『海商法』（成文堂、第2版、2013年）

その他の参考文献は講義のときに紹介します。

**成績評価方法および評価基準**

**Evaluation criteria**

|                           | 定期試験<br>Tests | 授業内小試験<br>In-class quizzes | レポート・課題<br>Reports/Assignments | 受講態度<br>Class Attitude |
|---------------------------|---------------|----------------------------|--------------------------------|------------------------|
| 評価比率%<br>Evaluation ratio | 90%           | 0%                         | 10%                            | 0%                     |

**成績評価の方法に関する注意点**

**Assessment criteria**

期末試験（定期試験）と小テスト（課題）により評価します。期末試験では、基本的な知識を確認する選択式問題と、論述式問題を出題する予定です。

**課題のフィードバック**

**Feedback**

定期試験については、試験直後に解説を行うほか、試験後希望する学生には個別的な指導を行います。

**学生へのメッセージ（履修上の心得）**

**Message to students (class guidelines)**

講義では何度も条文を参照します。こちらからの指示のあるなしに関わらず、参照条文が出てきたら必ず六法を開いてその条文を確認するようにしてください。

また、質問は大歓迎です。わからないことをわからないままにしないでください。

**科目のレベル、前提科目など**

**Level / Prerequisites**

私法の基礎である民法（とくに「民法Ⅰ（総則）」、「民法Ⅱ（物権）」、「民法Ⅳ（債権総論）」、「民法Ⅴ（債権各論）」）は前提科目です。できる限り事前に履修してください。

また、商法科目全体の基礎である「商法総論」、運送契約を扱う「商取引法」、有価証券制度の基本法である「手形小切手法」、保険契約を扱う「保険法」は、とくに重要な関連科目です。まだ履修していない者は、あわせて履修することをお勧めします。

**キーワード**

**Keyword(s)**

海商法、船舶、船長、船員、国際海上物品運送法、船主責任制限法、運送契約、船荷証券、運送人、荷送人、荷受人、共同海損、船舶衝突、海難救助

